

① 食育月間の取組

<p>提出都道府県名 政令指定都市名</p>	<p>熊本市</p>
<p>取組市町村名 取組団体・企業名</p>	<p>熊本市健康福祉局子ども未来部保育幼稚園課 熊本市立春日保育園</p>
<p>取組の名称</p>	<p>コロナ禍の「新たな日常」における保育園と家庭連携の食育活動 「保育園で収穫した野菜を、家庭でクッキング！エピソード募集」</p>
<p>実施時期</p>	<p>6月下旬～</p>
<p>取組内容</p>	<p>コロナ禍になるまで保育園で取り組んでいたクッキング等の食育活動は、感染拡大防止の観点から実施することが難しくなり、保護者を巻き込んで何か取り組めないかと考えました。その結果、『園で収穫した野菜を家庭に持ち帰して、子どもと一緒に家庭でクッキングをしたり、収穫したときの様子などを親子の会話のきっかけとしてもらう食育』を実践しました。家庭での子どもたちの様子が浮かぶ、楽しい可愛いエピソードが集まり、園発行の食育だよりに掲載しました。</p> <p>コロナ禍で「これまで保育園で行っていた食育活動を、「新たな日常」として家庭で実践する取組」として、保護者と連携した双方向の食育活動ができ、家庭での食育にもつながるきっかけとなりました。</p> <p>【保護者からのエピソード】一部抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おぐらの味噌汁 2歳児 「Aちゃん パパにおぐらあげたいなあ」と言っていましたが、夕食に出した味噌汁を完食。全部ひとりで食べました。 ・枝豆入りポテトサラダ 4歳児 枝豆の皮をむきながらつまみ食いが止まらず、すきを見ては食べていました。完成したポテトサラダを食べながら「お父さん おいしいって言うだろうなあ」と得意げに言っていました。 ・いんげんの胡麻和え 5歳児 自分で作るということで、へたをとり、茹で上がったいんげんを包丁で切っておいしい胡麻和えを作ってくれました。とても上手に作ってくれたのですが、終始、「いんげん」のことを「いんげんさい」と言っていました(笑)

